

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (道路占用申請書データ化事業)**

[0964]

部名	建設部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 道路占用許可申請書
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) この事業により市内の雇用を創出する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 昭和62年からの道路占用許可申請書を整理 確認し、パソコンで画像読み取りを行い、保管に必要なデータをパソコンへ入力することで、紙で保管されている書類を全件データ化する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	道路占用許可申請書件数	件				
対象指標2						
活動指標1	データ化した申請書類件数	件			3,000	12,000
活動指標2						
成果指標1	雇用者数	人			5	4
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,671	5,341
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,030	4,073
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	5,701	9,414

費用内訳	
22年度	賃金 1,575千円、需用費 53千円、委託料 15千円、使用料及び賃借料 29千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

雇用の創出となる。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

就業機会がふえるため。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

単純作業のため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

単純作業のため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

単純作業のため。